

基盤科目2 ケアテクノロジーのコ・デザインと実装戦略 概要

到達目標

- 1 ユーザーと企業人との対話を目指して、ケアテクノロジーのニーズ、シーズを理解できる
- 2 ユーザーと企業人の相互理解と共通言語の獲得によって対話の重要性を理解できる
- 3 専門職連携実践の基本知識を学び、エコシステム構築に向けたユーザーと企業人とのコ・デザインの必要性を理解できる
- 4 エコシステム構築に向けたケアテクノロジーの実装戦略枠組みの必要性を理解できる

単元	主な学習内容	開講方法	講師
1 ケアテクノロジーの 必要性と課題	- ーケアテクノロジーの開発と実装の社会的背景（超高齢少子社会、長期ケア、女性の活躍、ロボット密度） - ー施策 - ーこれまでの開発状況（海外も含めて）	オンデマンド 1時間 （動画コンテンツ15分×3編、確認クイズ）	学外講師 小 舘 尚 文 准 教 授 (UCD)
2 エコシステム構築と コ・デザイン	- ーエコシステムの重要性 - ーケアテクノロジーの開発と実装におけるステークホルダーと役割 - ーケアテクノロジー開発の現状と課題 - ーコ・デザインの必要性と開発のプロセス	オンデマンド 1時間 （動画コンテンツ15分×3編、確認クイズ）	学内講師 鈴木 規 道 准教授
3 専門職連携実践の ためのユーザーと 企業人との共通言語	- ーケア現場の理解ー組織運営と人材を中心にー - ー専門職連携実践のためのチームコミュニケーション - ーケア現場の理解ーケアの実際を中心にー - ーケア現場の理解ー建築・通信環境を中心にー - ー企業の理解ー組織、人材、開発現場、共同研究） - ーケアテクノロジーの開発と実装に向けてユーザーと企業人が知っておくべき共通言語	オンデマンド 1時間 （動画コンテンツ15分×3編、確認クイズ）	学内講師 酒 井 郁 子 教授 鮎 澤 ひ と み 副 看 護 部長 高 橋 応 明 准教授
4 対話とコンフリクト の解決	- ー企業人が有する価値観がケア現場に与える影響 - ーユーザーが有する価値がケアテクノロジーの実装に与える影響 - ーコンフリクトの解決を目指したアプローチ方法 - ーコンフリクトの解決を目指したチーム内コミュニケーションの実際	オンデマンド 1時間 （動画コンテンツ15分×3編、確認クイズ）	学内講師 下 井 俊 典 特 任 准 教 授

基盤科目2 ケアテクノロジーのコ・デザインと実装戦略 概要

単元	主な学習内容	開講方法	講師
5 意思決定能力が低下した人を対象とする研究の倫理的配慮	- ー研究倫理の基本 - ーインフォームド・コンセント - ー認知症の人の意思を表明する力 - ー同意を得る場面での倫理的配慮 - ー家族や周囲の人による代諾と倫理的配慮	オンデマンド 1時間 (動画コンテンツ15分×3編、確認クイズ)	学外講師 佐伯恭子講師(千葉県立保健医療大学)
6 医療介護現場におけるより良いケアの実装	- ー医療介護現場へのより良いケアの実装を阻む“聖なる牛”(慣習に基づいたケア) - ーより良いケア、より良いケア環境とは何か - ーより良いケア、より良いケア環境の実装を阻む要因 - ーユーザーの日常生活におけるケアテクノロジーの利用状況と阻害要因	オンデマンド 1時間 (動画コンテンツ15分×3編、確認クイズ)	学内講師 酒井郁子教授
7 ケアテクノロジー実装戦略フレームワーク	- ーEBP(Evidence Based Practice)における実装の理論・モデル・フレームワーク - ーEBPにおける実装の理論・モデル・フレームワークを基盤としたケアテクノロジー実装戦略フレームワーク	オンデマンド 1時間 (動画コンテンツ15分×3編、確認クイズ)	学外講師 友滝愛特任准教授(東京大学)
8 ケア現場の声を大切にしたテクノロジー開発と実装	- ーケア現場の声を大切にしたテクノロジー開発と実装の実際 - ーケアスタッフと企業人がお互いに留意すべきこと	オンデマンド 1時間 (動画コンテンツ15分×3編、確認クイズ)	学外講師 二瓶美里教授(東京大学)
9 ケアテクノロジーの開発と実装の成功事例1	- ーケア現場におけるテクノロジーの導入事例(ケアテクノロジーの選定、実装のための組織体制、効果的な利用のためのルール作り、活用の実際と評価) - インカム - 電子カルテ - 非接触型睡眠計	オンデマンド 1時間 (動画コンテンツ15分×3編、確認クイズ)	学外講師 桑田美代子看護部長(青梅慶友病院) 学内講師 横田慎一郎教授 学外講師 山川みやえ教授(大阪大学)

基盤科目2 ケアテクノロジーのコ・デザインと実装戦略 概要

単元	主な学習内容	開講方法	講師
10 ケアテクノロジーの開発と実装の成功事例2	ーケア現場におけるテクノロジーの導入事例（ケアテクノロジーの選定、実装のための組織体制、効果的な利用のためのルール作り、活用の実際と評価） ベッドセンサー 24hオンコールシステム	オンデマンド 1時間 （動画コンテンツ15分×3編、確認クイズ）	学内講師 酒井郁子教授
11 ケアテクノロジーの開発と実装の成功事例3	ーケア現場における自律走行型ロボットの導入事例 ーケアテクノロジーの選定 ー実装のための組織体制 ー効果的な利用のためのルール作り ー活用の実際と評価	オンデマンド 1時間 （動画コンテンツ15分×3編、確認クイズ）	学外講師 黒田直美副総 看護長（トヨタ記念病院）
12 ケアテクノロジーの開発と実装に必要な専門職連携実践	ー専門職連携実践が必要となる社会的背景 ー専門職連携実践の基本的考え方 ー専門職連携実践のコンピテンシー ー医療介護現場での専門職連携実践 ー地域包括ケアシステムにおける医療介護現場と企業の役割	オンデマンド 1時間 （動画コンテンツ15分×3編、確認クイズ）	学内講師 下井俊典特任 准教授
13 ケアテクノロジーの開発と実装のための専門職連携実践 グループワーク	ーアイスブレイク ーグループワークのグランドルール ーユーザーと企業人の役割の相互理解 模造紙、付箋紙、油性ペン等事務用品を用いたグループワーク	現地開催 12月27日（土） ベルサール神田 1.5時間	学内講師 酒井郁子教授
14 医療介護現場の聖なる牛の発見とケアテクノロジーの開発・実装の可能性 グループワーク1	ー医療介護現場の聖なる“聖なる牛”（慣習に基づいたケア）の発見 ー聖なる牛からケアテクノロジーへの転換を目指す戦略 模造紙、付箋紙、油性ペン等事務用品を用いたグループワーク	12月27日（土） ベルサール神田 1.5時間	酒井郁子教授
15 医療介護現場の聖なる牛の発見とケアテクノロジーの開発・実装の可能性 グループワーク2	ー“聖なる牛”（慣習に基づいたケア）からケアテクノロジーへの転換を目指す戦略 ー学びの共有	12月27日（土） ベルサール神田 1.5時間 （ミニレポートを含む）	酒井郁子教授